

2024(令和6)年度入試学力試験(国語)

I 次の問いに答えなさい。

(1)【 】内の言葉はどこにかかっていますか。最もふさわしいものを①～⑥から選び、記号で答えなさい。

- A: ①野球部と ②サッカー部の ③人は【校庭へ】 ④ゴミを ⑤集めに ⑥行きましょう。
B: 【あの】 ①高い ②山が ③剣山だと ④父は ⑤教えて ⑥くれた。
C: ①母は【じっと】 ②わたしの ③顔を ④見つめ ⑤「ありがとう」と ⑥言った。
D: ①この ②本には【色々な】 ③おもしろい ④話が ⑤書かれて ⑥いる。

(2)次の各文章において、主語述語の関係が成立していれば①、成立していなければ②を選びなさい。

- A: 私たちは待っていた、朝日が昇るのを。
B: 君が作品の世界観のイメージをふくらませ、僕がそれを具現化する。
C: 私も彼のように自由気ままな生活を送りたい。
D: ビタミンCの多い食品は、オレンジやレモンなどの柑橘類に含まれています。

(3)下記の語句を正しい順序に並べ替えて作文した時、4番目に該当するものを①～⑤から選び、記号で答えなさい。

- A: ①古代文明は ②痕跡を ③微かな ④残している ⑤失われた技術の
B: ①探究心を刺激する ②科学者たちは ③奥深い ④宇宙の謎に ⑤挑戦している
C: ①多様性を生み出す ②ウィルスによる ③遺伝子の ④駆動力となる ⑤変異は
D: ①重要であり ②文化や伝統を ③その歴史を ④学ぶことが必要である ⑤保護し続けることが

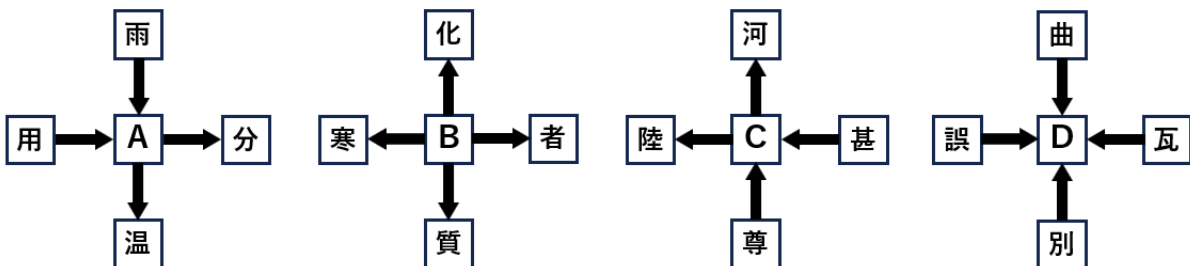
(4)以下の熟語の成り立ちは、それぞれ①～④のどれかに該当します。最も該当数が多い選択肢と、最も該当数の少ない選択肢をそれぞれ記号で答えなさい。

【削減・国有・融合・固定・電流・善悪・東洋・是非・訴求・官営】

- A: 最も該当数が多い選択肢
B: 最も該当数の少ない選択肢

- ①似た意味を持つ漢字から成る
②反対の意味を持つ漢字から成る
③主語と述語の関係から成る
④前の漢字が後の漢字を修飾する関係から成る

(5)空欄A・B・C・Dに、ある漢字を入れて矢印の方向に読むと、二字熟語が4つ完成します。空欄に入る漢字1字をそれぞれ解答欄に入力しなさい。



(6)サーヴァントリーダーシップは、リーダーが部下の成長やコミュニティの発展を最優先にし、他者のために奉仕するリーダーシップスタイルです。この定義に基づいて、以下のエピソードの中で、サーヴァントリーダーシップの実践例として最もふさわしいものを①～⑤から選び、記号で答えなさい。

①リーダーは、部下を不安にさせないように、自信を持って堂々と振舞うことで周囲を鼓舞し、プロジェクトを進める。

②リーダーは、チームメンバーの意見やアイデアを積極的に集めた上で、最終的には自身が責任を持って決定する。

③リーダーは、将来部下が困らないように、小さなミスでもあえて厳しく追及し、再発防止に努めている。

④リーダーは、組織を成長させるために部下を競争させ、成果をあげた者を積極的に登用していく。

⑤リーダーは、目標を達成できなかった部下に対し、他の業務をとめてでも自らトレーニングを行う。

(7)API(Application Programming Interface)は、異なるソフトウェアアプリケーションやツールがお互いに通信できるようにするインターフェースのことである。以下のサービスのうち、**API**を利用していないものを①～⑤から選び、記号で答えなさい。

①シェフがオンラインで調理テクニックを教えるサービス。利用者はZOOMアプリを起動し、シェフの手さばきを視聴することができる。

②店舗の場所を示すサービス。グルメサイト上でGoogleマップを確認できたり、自宅からのルートを検索することが可能。

③自分がいる地点に雨が降ることを知らせてくれるサービス。衛星などが観測したデータとGPS情報によって、数時間後の雨を予想してくれる。

④ホテルや航空券の予約サイト。異なる航空会社やホテルチェーンの最新の価格や利用可能な部屋の情報が随時更新されている。

⑤オンライン決済サービス。ZOZOTOWNのようなオンラインショッピングサイトやアプリは、PayPalなどの決済サービスを導入し、安全な支払い処理を提供している。

(8)ユニバーサルデザインは、あらゆる人々が平等に使用できるように設計された製品や環境を意味します。これは、老若男女、障がいの有無に関わらず、全ての人々が使用できるデザインを目指します。インクルーシブデザインは、障がいを持つ方や高齢者など、多様なユーザーの声を反映し、ともに作り上げていくプロダクトやサービスを意味します。

以下の選択肢から、

A:ユニバーサルデザインの実践例

B:インクルーシブデザインの実践例

として最もふさわしいものを、それぞれ①～⑥から選び、記号で答えなさい。

A:ユニバーサルデザインの実践例

①一部の高性能ユーザー向けに特化した高度な技術を採用したウェブサイト。

②色覚障がいの方にヒアリングの上、異なる色と形状のアイコンを採用したアプリ。

③英語圏のユーザーのみを対象にした、英語のみで表示されるスマートフォンアプリ。

④入口に車椅子用ランプを設置し、障がいのある人々もアクセスしやすくした公共施設。

⑤シンプルなデザインでありながら、特定の専門知識を要求する専門家向けアプリ。

⑥料理人が開発した、家庭料理の域を超えたユーザー向けの特殊調理器具。

B:インクルーシブデザインの実践例

①一部の高性能ユーザー向けに特化した高度な技術を採用したウェブサイト。

②色覚障がいの方にヒアリングの上、異なる色と形状のアイコンを採用したアプリ。

③英語圏のユーザーのみを対象にした、英語のみで表示されるスマートフォンアプリ。

④入口に車椅子用ランプを設置し、障がいのある人々もアクセスしやすくした公共施設。

⑤シンプルなデザインでありながら、特定の専門知識を要求する専門家向けアプリ。

⑥料理人が開発した、家庭料理の域を超えたユーザー向けの特殊調理器具。

II 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

キャンプ場で働いていて面白かったことが、置かれていたチェーンソーアートやアスレチックが、動物の形を模しているのが多かったことだ。オブジェや椅子など、機能だけを考えれば動物の形をしている必要はないのだが、一手間かけられている。

ロボットも同じで、なぜか人型のデザインのものが多い。(a)一般的にロボットと聞いて連想されるイメージは、なぜ無機質な箱ではなく、人や生き物の形をしているのだろう。私の答えだが、それは使う人に愛着やキャラクター性を“感じて”もらうためだろう。ロボットが、ただのコンピュータの箱になってしまうと、人工知能の「知能」部分は受け取れるかもしれないが、人間性やキャラクター性を感じることができなくなってしまうと思う。

店で買ってきたばかりのペンがあるとして、我々はこれを「これ、この～」と表現する。しかし、生活の長い時間を共に過ごしてきた相棒の自転車や車のことになると、人はまるで友達のように「こいつは～」と言ってしまう。

なぜ、このような現象が起こるのか。

私は高専時代、人工知能を研究するうえで役立つだろうと、人間の心理についていくつかの自由研究を行った。「これ」と呼んでいた無機物が、いつのまにか自分の中で「こいつ」に変わる瞬間がある。その現象を勝手に擬人化ならぬ「(b)擬生命化現象」と名づけ、なぜそれが起こるのかを考えていた。

最もイメージしやすいものは、よく小さな女の子が持っているぬいぐるみだ。「この子」と呼ばれていて、女の子の父親までもが「こいつ」と呼んだりする。ぬいぐるみに対して「これ」と呼ぶ人のほうが少ないだろう。マネキンもそうだ。生き物の形をしているものを、我々は自然に「これ」扱いにはしないし、ゴミ箱に捨てられているのを見ると悲しい気持ちが湧いたりする。

車や自転車、スクーターなどの乗り物についても「こいつ」と呼ばれることが多い。他人の車は「あの車、この車」と呼ぶが、自分の車はまるで相棒である。「こいつは長年の相棒だから交換したくないんだよなあ」

そのようなセリフを聞くことも多いと思う。乗り物に限らず、職人の道具、若者にとってのスマホなど、身体の一部のように使っている愛用品は、使用している本人にとって生命化しやすい傾向があるようだ。うちの祖父も昔、テレビを叩きながら「こいつ、最近調子悪いな」などと言ったりしたものだ。

話を戻すが、こういった自由研究をしていたものだから、ロボットをつくるうえで動きやデザインの重要性も感じていた。どんなにテクノロジーが最先端で優れていても「(c)」を感じさせてはならない。重要なことは人が「どう感じるか」である。

ロボットをつくるうえで重要なことは、大学で制御工学を学ぶことではなく、どのような制御をし、それを見た人に“どんな(d)をさせるか”が本質だ。

だったら、いきなり他人の身体であるロボットより、まず自分の身体を使ってそれを勉強したほうがよいのではないか？自分の身体がどんなふうに動くのか、その動きによって周りの人はどんな印象を受けるのか、わざわざロボットをつくって動かすまでもなく、身をもってテストやフィードバックを得ることができる。

何もない場所に、あたかも何かあるように感じさせる技術は何かと考えた結果、私は(e)サークルに所属して、身体表現を学ぶことにした。

出典：「孤独」は消せる。(吉藤 健太郎)

(1)傍線部(a)「一般的にロボットと聞いて連想されるイメージ」とありますが、ロボットが人や生き物の形をしている理由として、最もふさわしいものを①～④から選び、記号で答えなさい。

- ①人工知能の「知能」部分のみを受け取ってもらうため
- ②ロボットは人間の友達のような存在であるため
- ③生活の長い時間を共に過ごしてもらうため
- ④使う人に愛着やキャラクター性を感じってもらうため

(2)傍線部(b)「擬生命化現象」の筆者が考える具体的事例として、ふさわしくないものを①～④から選び、記号で答えなさい。

①生活の長い時間を共に過ごしてきた相棒の自転車や車のことになると、人はまるで友達のように「こいつは～」と言ってしまう。

②店で買ってきたばかりのペンを「これ、この～」と表現する。

③小さな女の子が持っているぬいぐるみが「この子」と呼ばれていて、女の子の父親までもが「こいつ」と呼んだりする。

④祖父も昔、テレビを叩きながら「こいつ、最近調子悪いな」などと言ったりした。

(3) (c)に入る言葉としてふさわしいものを①～④から選び、記号で答えなさい。

①違和感 ②達成感 ③高揚感 ④失望感

(4) (d)に入る言葉としてふさわしいものを①～④から選び、記号で答えなさい。

①行動 ②指摘 ③想像 ④変容

(5) (e)に入る言葉としてふさわしいものを①～④から選び、記号で答えなさい。

①映画 ②テニス ③軽音楽 ④パントマイム

Ⅲ 徳島では農村舞台などでよく人形浄瑠璃が上演される。中でも「傾城阿波の鳴門 巡礼歌の段(けいせいあわのなるとじゅんれいうたのだん)」は徳島出身の「十郎兵衛」と「お弓」の夫婦を主人公としたご当地物として人気が高い。この演目は「十郎兵衛」「お弓」夫婦が、徳島藩の盗まれた大事な刀を探すという使命を帯び、徳島から大阪に出て暮らしていると設定されている。2人は長年大阪で刀の探索をしているうちに、今では盗賊の仲間に身を落としてしまっている。ある日お弓が一人で家にいたところ、自分たちに追手が迫っていることを知らせる手紙が届いた。お弓は夫が帰り次第このことを伝えて、追手から逃れねばと考えていたところ、徳島の方で話す少女がこの家を訪れる。現代語訳した少女のセリフと、そのセリフを聞いた「お弓」の動作をふまえ、各場面の展開から読み取れることについて後の問に答えなさい。

【出会いの場面】

| 少女のセリフ | 少女のセリフに対する「お弓」の動作 |
|--------------------------------------|--|
| 「西国巡礼をしている者です。ご寄付をお願いします。」 | 玄関先に出ていき、少女を見て家の中に入る。お盆を持って玄関先へ戻り、お盆から何かを少女のカバンに入れてやる。 |
| 「ありがとうございます。」 | 玄関先に座り、少女に話しかける。 |
| 「はい、出身は阿波の徳島でございます。」 | 自分の胸を手でさしながら、手招きして少女と部屋に入る。 |
| 「いえいえ、その父や母に会いたいの、私一人で西国巡礼をしているのです。」 | 立ち上がって少女のそばに寄って座り、首をかきあげて、手を伸ばしたり、戻したりしながら少女に話しかける。 |

(1)次の設問文が【出会いの場面】の展開から読み取れると考えられる場合は①、読み取れないと考えられる場合は②を選びなさい。

A: お弓は少女を見た瞬間に自分の子ではないかと思い、部屋に招き入れた。

B: お弓は少女が徳島出身ということを知り、同郷であることに興味をもって、少女の親のことを尋ねた。

【少女の生い立ちを知る場面】

| 少女のセリフ | 少女のセリフに対する「お弓」の動作 |
|--|--|
| 「はい、どういう理由かは知りませんが、私が3つの年に父も母も私を祖母に預けてどこかへ行ってしまったようなのです。それで私は祖母の世話になっていましたが、どうか父や母に会いたい、顔が見たい、そう思ってあちこち尋ねて歩いているのです。」 | 手を膝に置き、少女の話に聞き入る。少女の話が終わると話しかける。 |
| 「はい、父の名は阿波の十郎兵衛、母の名はお弓と申します。」 | 腰を浮かせて両手を広げて、遠くを見ながら斜め上に手を伸ばしたりまた手をおろして胸に当てたりしている。少女に近づき、少女の髪をなで、額の髪をかき上げ、少女を抱きしめかける。が、すぐに離れて先ほどの手紙を取り出して広げ、目をつぶって首を横に振る。手を胸に当て、手のひらを下に向けて押すようにして、目を閉じ、少女の方に向き直ってまた少女に話しかける。 |

| | |
|--|---|
| <p>「いえいえ、もったいないことです。どうして父や母を恨みましようか。恨むということはないのですが、小さい時に別れたので、父や母の顔も覚えておらず、よその子どもたちが母親に髪を結ってもらったり、夜は抱かれて寝たりしているのを見ると、私も母がいたらあのように髪を結ってもらうのになあと、うらやましいのです。どうか早く尋ね当てて会いたい、ひょっとした拍子に会えないものだろうかと、それが悲しいのです。」</p> | <p>袖で口元を抑え、首を横に振りながら少女の話の聞く。袖で何度も顔をおさえたり首を横に振ったりを繰り返している。少女の話が終わると、少女に向かって手を伸ばしたり、手を上下に動かしたりしながら少女の顔を見つめて話しかける。</p> |
|--|---|

(2)次の設問文が【少女の生い立ちを知る場面】の展開から読み取れると考えられる場合は①、読み取れないと考えられる場合は②を選びなさい。

- A: お弓は少女の語る父母の名前から、少女を自分の娘だと思い抱きしめようとしたが、確信がもてなかったのですぐに離れた。
 B: お弓は先ほどの手紙を出し、その手紙を読み返して、追手のかかる自分が親だと名乗るべきではないと思い、少女を抱きしめるのをこらえ、高ぶる気持ちを抑えようとした。
 C: お弓は少女から手紙を受け取り、自分たちを恨んでいるのではないかと思い、胸を痛めた。

【少女との話に「お弓」の心が揺れる場面】

| 少女のセリフ | 少女のセリフに対する「お弓」の動作 |
|--|---|
| <p>「いえいえ、恋しい父や母にたとえいつまでかかっても尋ねようと思うのですが、悲しいことには一人旅だからと言ってどこの宿でも泊めてはくれず、野原に寝たり、山に寝たり、よその家の軒の下で寝ていて叩かれたり。怖いことや悲しいことも父や母と一緒にいたら、こんな目には合わないだろうに。どこにどうしていらっしゃるのだろうか。会いたいことよ、会いたいことよ。」</p> | <p>目を袖で押さえ震えながら話を聞く。首を横に振り、少女を抱き寄せ、目を閉じて少女を抱きかかえる。すぐに少女から離れて、胸に手を当てたり、少女に手を伸ばしたりしながら話す。裁縫箱から紙に包んだものを取り出し、少女に渡す。</p> |

(3)次の設問文が【少女との話に「お弓」の心が揺れる場面】の展開から読み取れると考えられる場合は①、読み取れないと考えられる場合は②を選びなさい。

- A: お弓は少女から親を探すために旅を続けているという少女の気持ちを聞き、いたたまれずに旅をやめることを勧めた。
 B: お弓は自分を親だと知らずに旅を続けようとしている少女に胸を痛め、自分からも手紙を少女に渡していつか必ず迎えに行くということを伝えた。

IV 次の神山町に関する文章【甲】を読んで、後の問いに答えなさい。

【甲】

小さな国際交流の成功体験や、旅を通じて培われた関係性が、現在の神山の状況のポジティブな起点にあたるとよく言われる。

こうした道のりを一緒に歩んで来た二人に、「外国人が多い」状況の源流を尋ねてみたい。

大南:もとを辿れば、1979年に僕がアメリカ留学から帰ってきて、英会話教室を始めたんや。

佐藤:しよった。僕も行きよったけん。

▼大人の英会話教室？

大南:そうそう。まだALT(外国語指導助手)もおらんかったけん。上野さんのとこの蘭栽培の研修に、ニュージーランドから来てた男の子おったで。

佐藤:マークさん。世界を周りよって日本に来て、神山に2~3ヶ月おったんちゃう。

大南: いや1年くらいおった。僕もアメリカから帰ってきて、海外にたまには戻りたいんよな。戻りたいけど、なんか理由があるやん。ほんで英会話の延長で「ちょっと実践せんか」って(笑)。シンガポール行って。ほれから佐藤さんたちと、毎年ゴルフ旅行でアメリカ行ったりして。で、1988年ぐらいに「ウィーン音楽大学」いうんが来たで。

佐藤: ああ、来た。

大南: 多分あれが、神山の本格的な民泊の最初やな。

▼ それはALTが始まる前？

佐藤・大南: 前、前。

大南: なんかの関係で「神山で受け入れやってほしい」って話があって。「民泊やらんか」言うて、ウィーンの学生たちが2泊3日くらいで来て。20人もおらんかったんではなかった？ おった？

佐藤: いや、おったと思うわ。

大南: ほんでせっかく来とるけん。「小学生とか中学生にも合唱を聴かしたいな」言うて、ほんでやってくれたん。あれすんごい思い出に残ってる。音がきれいってゆうか...

佐藤: で、僕が温泉で、その学生さんたちと初めてお見合いっついうか、自己紹介して。その子らを車に積んでいくとき、「どのくらい時間かかりますか？」っついうけん。「5 minutes」って言うたんよ。ほんなら向こうが「えっ...」て感じしよんよ。これ、間違えたなど。『ああそうか “これからどこ行くんだ、と訊かれたんや』とわかって。体育館やけど、体育館って英語が出てこんで。「うー」「スポーツセンター！」っついうたら、「おおスポーツセンターか！」いうて。ちょっと和やかになったんは忘れれんわー。あれが実践英語の最初のところで。ほれからごっつい適当にしゃべって、まあ、きたなー。

▼ 国際交流の文脈はまだないですよ。なんでその話がポンっと来たんだろう。

佐藤: 「受け入れするところがないんで、お願いできへんで」っついう話だったと思うんやけん。

▼ こっちから仕掛けたわけじゃない。そのときの民泊受入は何軒くらい？

大南: 10数軒つくったかな。ほのときに、テレビや新聞が広野の阿部教頭先生にインタビューしよって。「こんだけようけ外国人が泊まったんは、神山で有史以来の出来事や」と答えよったでな。1人や2人でなく、まとまってほんだけの外国人が入ってきたんはあのときが初めてやな。

▼ 受け入れてくれるご家族が複数いたんですね。

佐藤: 頼んで断られたことは、意外とほとんどなかった。

大南: “子どもの数が多かった、って話だと思ふな。子どもの教育の中で、とくに英語は頑張っ欲しい、っていう思いがみんなあるけん。受入は気苦労なけん、子どもにとってほういう経験はええんじやないかなって。

佐藤: そんな体験はしとったんよ。公演も成功しとったけん。ごっつい喜んどった。みんな興奮しとったもん。親、みんな寄って。

大南: そうやな。

▼ さらにその前に、自分たち用の英会話教室があり。

大南: で、「遊びに行こう」みたいな。

▼ なんか理由つくって、また海外に行きたい大南さんと、その周りの人たち。だんだん分かってきました。

大南: (笑)

▼ ひろみさん(大南さんのお姉さん)がたまに聞かせてくれる、あるとき大南さんが大勢の前で『世界の神山になる』と言って「弟の気が狂ったかと思った(笑)」っていう話は、どの辺りのタイミングですか？

大南: あれは僕の姪が中学生のときやけん、30年ちょっと前。ってことはアリス(1991年)のちょっと前かな。中学校の立志式で、なんか体験談を話してくれと言われて。ほんでそういう話をしたんよな。

▼ どういう？

大南: 「中学校とか小学校に、日常的に、外国人の子どもがおるような状況をつくりたいよな」って。そしたらわざわざ外に出んかっても、神山にいながら英語が勉強出来たり、外国のことを知る状況が生まれるよな。みたいな話。

▼ 中学生の前で？

大南:(a)を広げた。

▼ 聞いていた子どもたちの手応えは？

大南:手応えは...そらないよな。なにもないことを言うわけやけん。

佐藤:ほんでも結構影響された子もあってな。何年も経ってから、信ちゃん(大南さん)が、あんまり知り合いでない人の婚礼に呼ばれたんよ。どうしてかなあとと思ったら、立志式の講演を聞きおった子で、どうしても大南さんを式に呼んでくれと両親に言ったらしい。「ああいう大人になりたい」と感激したんやろうなあ。多分に影響はあったと思うでよ。

▼ いろいろ考えた末、その話をしたんですよね。

大南:まあそうじゃわだな。僕自身はすごい恵まれて、親に無理言うて2年間アメリカで生活出来た。ほなそこから自分が帰ってきて、神山にとって当面いちばん働けることはなんだろう？と考えたら、「やっぱり国際交流やろうな」いう想いは最初からあったけん。その延長線上で、なにか出来るところから手をつけてゆく。それが英会話になったり、仲間を連れて旅行に行くとか。そういうのが、僕にとって一つのスタートというか、とっかかりよな。

▼ 個人で出来ることから？

大南:うんうん。僕よう言うけども、「手届き」っていう話なんよ。「いまなにに手が届く状態にあるんか？」って見たときに、やっぱり佐藤さんや岩丸さんとするんでゴタゴタというんは、自分のいちばん近いとこにあったわけよな。「動かせる状態」にあるというか。一緒に動いていける状態にあるところから、少しずつ手繰りよせていく感じよな。

▼ 「アリスから始まった」とよく聞くけど、その前の流れがあるんだなあ。その頃は30代？

佐藤:アリスが38～39歳かな。僕、初めてアメリカに連れていってもらうたのが30歳くらいで、そこから2～3年何度か行っとるけん。ことを起こすんに準備は出来とった感じ。

▼ 「子どもたちにそんな環境が必要」ということも、強く思っていた。

大南:それはあるよな。たとえば数学とか国語なら、神山の子と、徳島市内の子と、たとえば東京の子。習うにしてもほぼハンディキャップはないけど、外国人の交流となれば、神山ならほういう機会はまずないでえな。そこをつくるのは意味あることやな、っていう想いがあった。海外の世界や人に触れること。まったく違う考え方や、文化の中で育った人間と直に接することが、自分の考え方や想いをつなぎ合わせる上で非常に意味があると僕はわかったから。ほかの子もそういう体験をせんよりはしたほうが当然いい。響かんたつたら響かんかったで、それはいいわけだし。なにかのモチベーションになって、そこから人生の選択肢を増やすというか。どれを選ぶかはそれぞれが決めたらしい。大人側に出来ることは「メニューの数を増やす」。これは絶対に必要なことやと思うんよな。

出典:in Kamiyama “Why are you here? ほかの国から、神山に”

【甲】

(1)(a)に入る言葉としてふさわしいものを①～⑤から選び、記号で答えなさい。

- ①夢物語 ②机上の空論 ③獲らぬたぬきの皮 ④自画自賛 ⑤大風呂敷

(2)出来事の時系列としてふさわしいものを①～⑤から選び、記号で答えなさい。

- ①大南の帰国－民泊の起源－英会話教室－世界の神山発言
②大南の帰国－世界の神山発言－英会話教室－民泊の起源
③大南の帰国－英会話教室－民泊の起源－世界の神山発言
④世界の神山発言－英会話教室－大南の帰国－民泊の起源
⑤世界の神山発言－民泊の起源－英会話教室－大南の帰国

(3)文章【甲】の内容としてふさわしいものを①～⑤から選び、記号で答えなさい。

- ①神山の子供たちは英語を習う機会において、東京よりもハンディキャップがある
②大南さんは、直接的な体験が必要であると述べ、町民を積極的に町外へ連れ出した
③佐藤さんは、物事をはじめるには最低でも10年弱の準備期間が必要だと述べている
④民泊を初めて実施した際は、「子供のために」と考える町民の協力が多数あった
⑤マークさんが発起人となり英会話教室を立ち上げ、後々それがALTの母体となった

以下【乙】は大南さんと佐藤さんの記事を読んだ学生4人がディスカッションをした際の議事録です。この文章を読んで、後の問いに答えなさい。

【乙】

A: まず、国際交流が地域の生活に与える影響について、どう思う？

B: 私は非常にポジティブだと思う。特に地域の子供たちにとっては新しい視点や価値観に触れる貴重な機会じゃないかな。

C: 確かにその点は重要だね。一方で地域の生活や文化が失われる可能性もある気がする。外から来た多様性が、地域既存の価値観を侵食するかもしれない。

D: それは本当に興味深いポイントだね。多様性と保守のバランスは、どの地域でも課題だと思うよ。

A: 「多様性と保守のバランス」というのは面白い視点だね。大南さんはどうやってバランスを取っていると感じた？

B: 大南さんは「(b)」の範囲で物事を考えている。地域に何が必要か、何ができるかを考慮しながら、自分ができるところから選択肢を増やしていると感じた。

C: けど、地域が必要としていないものを強引に持ち込むことで、逆に摩擦が生じる可能性もあるよね。

D: 確かに。でも、多様性があるからこそ新しいアイデアや解決策が生まれるんじゃない？ 完全な保守主義は進歩を妨げる可能性もあるよね。

A: じゃあ、神山のような地域で国際交流が進むことで、地域の生活にどのようなプラスとマイナスがあると思う？

B: プラスとしては、やっぱり多様性。新しい文化や考え方に触れることで、地域の人々も成長できると思う。

C: マイナスとしては、地域の独自性が失われる可能性かな。地域自体が他と区別がなくなってしまうかも。

D: しかも、それが地域の魅力を減らす結果につながる可能性もあるかもね。

A: 結論として、神山の例を通じて、多様性と保守、それぞれには(c) 長 短があるってことだね。国際交流が進むことで地域の生活が豊かになる一方で、地域独自の価値や文化を守ることも重要。

B: 何もかもが一概に良いわけではない。バランスが大事ですね。

【乙】

(4) (b)に入る言葉を文章【甲】から三字で抜き出して解答欄に入力しなさい。

(5) (c) 長 短の には同じ漢字が一字入ります。ふさわしい漢字を考え、その和として正しいものを①～⑤から選び、記号で答えなさい。

- ①一 ②二 ③七 ④十 ⑤二十

(6) 議事録【乙】には、以下の発言の記載が抜けています。この発言を挿入するのにふさわしい場所は、誰の発言の後ですか。①～④から選び、記号で答えなさい。

「他にも、インバウンドの増加によって地域経済が活性化する可能性もあるよね。」

- ①A ②B ③C ④D

V 次の説明文を読んで、後の問いに答えなさい。

2016年4月、内閣府によって「企業版ふるさと納税制度」が創設されました。

従来の個人版ふるさと納税は個人に対する寄付控除(※控除: 一定金額を差し引くこと。差し引かれて、残った金額に対して税金がかかる)が行われる仕組みで、お礼の品を受け取れる場合もあります。しかし企業版ふるさと納税はその名の通り「企業」を対象とした自治体への寄付に対する控除制度です。



上記は制度改正前の企業版ふるさと納税について、企業が負担すべき割合について示した図である。これに基づくと、企業が1000万円寄付した場合、国税＋地方税で3割控除、法人住民税＋法人税で2割控除、法人事業税で1割控除を受け、最終的には400万円に対して税金を課せられるということになる。

その後、法人住民税＋法人税／法人事業税の2項目においてのみ改正が行われ、控除割合がそれぞれ2倍に拡充されることとなった。

(1)改正後、1000万円を寄付した企業はいくらに対して税金を課せられますか。その額として最もふさわしいものを①～⑤から選び、記号で答えなさい。

- ①100万円 ②200万円 ③300万円 ④500万円 ⑤600万円

VI 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

今年前半の大きな話題として、「生成AI(人工知能)」はその一つに挙げられるだろう。ChatGPT(チャットGPT)は各種メディアで盛んに取り上げられ、G7広島サミットでもAIの規制が中心的な議題となった。政府は「AI戦略会議」を立ち上げ、「骨太の方針」には生成AIの開発・提供・利用の促進が記載された。

AIの開発や利用の流れは(a)で、ますます加速しつつあるように見える。とくに日本では政府もビジネスの世界も前のめりの姿勢が目立つ。ここでは「政治のメディア化」という考え方が手ごかりに、一般的な議論とは少し異なる視点からこのテーマについて論じてみたい。

メディア研究では近年、「メディア化」という概念が注目されている。メディアが広く浸透した結果、社会の成り立ちや変化に大きな影響を持つようになった状況を説明するものだ。これまでメディア化には三つの「波」があったとされる。印刷メディアに関わる「機械化」、放送・通信に関わる「電化」、そしてインターネットに代表される「デジタル化」である。

「(b)政治のメディア化」に関しては、例えば「機械化」によって新聞が発達し、政治家は自身の活動がどのように報道され、その結果いかなる世論が形成されるのかを意識するようになった。「電化」のフェーズでは政治家はテレビを意識した劇場型の政治手法を身につける必要に迫られ、「デジタル化」の段階にはSNSを通じて支持者から共感を得る戦略が求められる。政治家にとどまらず、今日の政治的な行為、制度や文化はメディアの存在が前提に組み込まれており、それがいかに機能するかに影響を受けるのである。

そして現在、私たちは「(c)データ化」と呼ばれる第四の波の中にいるとされる。デジタル技術やインターネットの発達を通じてデータの収集、蓄積、処理がビジネスや行政、日常生活に至る社会のさまざまな領域を成り立たせる原理となりつつある状況を指す。

生成AIブームやマイナカードの利用促進もこの流れに位置づけられる。重要なのは、「深層のメディア化」とも呼ばれるこの新しい波は、個人の日常的な振る舞い、思考や属性をデータ化し、私たち自身が気づかぬうちに政治的に活用することを可能にする点だ。(d)政治のメディア化はこれまでとは全く異なる段階を迎えたと言える。

この点を考える上で、ケンブリッジ・アナリティカ(CA)事件が参考になる。英選挙コンサルティング会社のCA社が、フェイスブック(現メタ)から大量の個人データを不正に入手し、2016年の米大統領選でトランプ陣営の選挙戦に利用した。その際に用いられたマイクロターゲティングは、データの分析を通じて個人の性格や関心、信条などに対して最も有効なメッセージを伝達する手法とされる。実際に効果があったのかは評価が分かっているが、日常的なメディア利用を通じて知らぬ間にデータが収集・活用されるという側面は重要である。というのも、目下の生成AIの飛躍的発展は、私たちの政治的意思決定に影響を与えかねないメッセージを自動的に生成する技術がますます進化していることを意味しているからである。

公的・私的生活のあらゆる領域をデータ化し、活用する新たな「政治」に関して、ジャーナリズムにはこれまで以上に社会的な熟議を深める報道が求められる。私たちのデータがどのように収集され、何に利用されているのか。その実態を明らかにし、私たちがこの流れにどのように向き合うべきかを考える機会を提供することである。

実際に、日本でもデータ利活用やAIをめぐるさまざまなテーマが18年から19年ごろにかけて集中的に報じられた。先述のCA事件、EUのデータ保護の取り組みや中国のデータを用いた管理社会的統治などである。問題は、こうした報道が一過性のものに終始する点だ。現に、今日の生成AIをめぐる報道では、「ビッグテックの権力は今や強大だ」といった、(e)当時と同じような議論が繰り返されている。

新たな技術やそれに関わる事例を追いかけるだけでは、立ち止まって考えることも、議論を深めることもできない。その結果、私たちは漠然とした不安を抱えながらも加速する変化の潮流に身を委ね、「こうするほかない」とデータを提供し続けることになる。

メディア化の波という概念は、データ化が政治や社会のあり方を根本から変えていく大きな流れを捉えることを可能にする。ジャーナリズムもこうした側面の分析に力点を置いた記事作りを通じてメディア研究の発想を生かすべきではないか。新たな事実を伝えるだけが報道ではない。持続的な議論を促すような記事を期待したい。

出典:「AIによる「データ化」で変わる政治 持続的報道で実態分析を」朝日新聞

(1)(a)に入る言葉としてふさわしいものを①～⑤から選び、記号で答えなさい。

- ①終末期 ②一方的 ③不可逆 ④唯一無二 ⑤朝令暮改

(2)傍線部(b)「政治のメディア化」とありますが、その影響の説明として最もふさわしいものを①～⑤から選び、記号で答えなさい。

①政治的な行為、制度や文化はメディアの存在が前提となっており、政治家たちは、認知度のために政治活動よりもテレビ出演やSNSに時間を割くようになった。

②政治的な行為、制度や文化はメディアの存在が前提となっており、政治までもがメディアに飲み込まれ、メディアと政治家の従属関係が発生した。

- ③政治的な行為、制度や文化はメディアの存在が前提となっており、時代の変遷に伴って媒体を変えながら活動していく必要が生まれた。
- ④メディアが社会の成り立ちや変化に大きな影響を持つようになり、主権者は時代の移り変わりとともにSNSを通じて政治に参加できるようになった。
- ⑤メディアが社会の成り立ちや変化に大きな影響を持つようになり、主権者は自身の選んだ媒体を通じて自由に政治的な情報を発信・受信できるようになった。

(3)傍線部(c)「データ化」とありますが、同じ意味の言葉を本文中から八字で抜き出して解答欄に入力しなさい。

(4)傍線部(d)「政治のメディア化はこれまでとは全く異なる段階を迎えた」とありますが、なぜそう言えるのですか。その理由として最もふさわしいものを①～④から選び、記号で答えなさい。

- ①これまでは、発信側は媒体を変えながら発信の工夫をしてきたが、これからはAIによる分析によって、常に受信側に最もふさわしい媒体を選ぶことができるようになり、両者にとって政治というものが身近になっていくから。
- ②これまでは、発信側がメディアを駆使して受信される量や質をいかにあげるかに執心していたが、これからは受信側が意図しない日常の行為が政治に活用されるデータとして発信側に流れ込むことになるから。
- ③市民の様々なデータを収集することで、個人個人に最適なメッセージを届けられるようになり、AIによるデータ活用によって、これまで遅滞していた市民の政治参加が劇的に進むことになるから。
- ④AIの自動生成技術の発展とともに、マイナカードなどのインフラを整備することで、国が市民の課題を日常生活レベルで把握・解決できるようになり、市民はメディアを通じた発信力ではなく実務能力で政治を判断できるようになるから。

(5)傍線部(e)「当時と同じような議論が繰り返されている」とありますが、筆者はどのような報道が必要だと述べていますか。最もふさわしいものを①～⑤から選び、記号で答えなさい。

- ①ビックテックに権力が集中しないよう、常にその動向を批判し、CA事件のような出来事を未然に防ぐ役割を担うような報道。
- ②メディアから社会の根本を変えていくことを目指した、より多くの市民の声を反映する参加型の報道。
- ③AIがもたらす利益も享受しながらも、人間にしかできない創造的な活動を促進するような巻き込み型の報道。
- ④日々の暮らしの中でのデータ送信や受信に対して意識を高め、そこに向き合う機会を提供するような報道。
- ⑤政治にデータが使用される際に、そのデータの妥当性や解釈が偏ったものになっていないか常に問いかけ続けるような報道。

VII 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

神山に、長年住んでいる地元の人々、そして、神山に移住してきた人々が共有する価値観や生活をするにあたって重視しているものなどについて、共通するものがあるのではないだろうか。つまり、移住する人々、そして、彼らを受け入れる人々の間に、互いに「共感」するものがあると思われる。この感性的な一致が、潜在的な参加条件であり、メンバーシップ獲得のために必要なものとなっている。

また、「契約中心」の参加のみでは、協力関係がうまく作用することができないことを指摘する人が少なくない。神山では、「共感中心」の参加を重視していることが、移住者も含めて、協力関係が強固なものとなっている要因であろう。したがって、神山塾などに集まる若者についても、移住についてはその人の(a)がはかれるという。

では、何に共感するかということであるが、それは、「ワクワクできることがしたいという想い」、「何かをやってみようという積極的な気持ち」、「面白そうだからやってみようという柔軟な考え方」、「自分たちの手で自分たちの生活を創りたい」、「いろいろな人々とつながりみんなで協力して何かをしたい」、「神山が好きである」などではないだろうか。このような地域の人々やその活動に共感する人々が多ければ多いほど、コミュニティ・キャピタル(注1)が蓄積されているといえ、何かをする際に、協力と支援が得られ、集団的パフォーマンスの成功につながる。

加えて、前述のソーシャル・キャピタル(注2)の「結束型」と「橋渡し型」の分類に関しては、神山町の場合、住民間で信頼感があり、自発的におしめない協力を提供する人々も多く、また、「自分たちの将来は、自分たちで決め、実行する」という強い意志と行動力があることから、「結束型」のソーシャル・キャピタルは存在していると思われる。(b)、一方で、20年くらい前から国際交流として外国人の民泊を実施し、さらに、外国人アーティストや移住者をあたたかく迎え、必要に応じて、優れた技術やスキルをもつ、大都市の企業や人材とのネットワークも積極的に構築している。(c)、その人々を神山のファンにしてしまう。多様な人々との交流を通じて新しいつながりを作っていくことを楽しいと感じる神山の人々によって、まさに、「橋渡し型」のソーシャル・キャピタルの形成も行われているといえよう。(d)、前述のような、パトナムのいう「(e)『結束型』ソーシャル・キャピタルが『橋渡し型』ソーシャル・キャピタルの形成を阻む」ようなことも起きにくいのではないかと考える。

加えて、大南によれば、「今、神山に残っている人々は、若い時は外に出ていて、人によっては海外へ行っていた。神山以外の外の世界を見ている人が多く、変化に対して柔軟であるし、自分たちが変わっていくことの面白さも体験している。さらに、神山では、長い間、国際交流をやってきたため、異質な人々を受け入れながら自分たちも変わっていくという意識が醸成され、周りの人々を巻き込みながら一緒に変わってきた」という。これまで実施した地方創生に関する現

地調査によると、海外をはじめとする地元とは異なる環境で生活した経験をもつ人々が何人かいる地域では、神山町のようにソーシャル・イノベーションが起こり、活性化に成功しているケースが多い。

つまり、社会における様々な変化に対応できずに魅力を喪失しているケースの多い地域において活性化を目指す際には、「結束型」と同時に、不足する人材や知識を取り込むため、そして創発を生むための「橋渡し型」のネットワークが非常に重要な役割を果たすといえよう。

出典：「ソーシャル・エンタープライズによるソーシャル・イノベーションの創出と「コミュニティ・キャピタル」(一部抜粋)」潜道文子

注1)コミュニティ・キャピタル：特定のコミュニティにおける、成員間に生じ交換され蓄積される限定的な関係資本であり、コミュニティの成員によって有効裏に利用される共通財

注2)ソーシャル・キャピタル：知人同士の関係性に基づくネットワークによって獲得できる資源の集合体であり、社会における信頼・規範・ネットワーク

(1) (a)に入る言葉としてふさわしいものを①～⑤から選び、記号で答えなさい。

- ①経験に根差した信念
- ②自立できる経済力
- ③地方での在住経験
- ④人間としての魅力
- ⑤契約を遂行する能力

(2)

A: (b)に入る接続詞としてふさわしいものを①～⑤から選び、記号で答えなさい。

B: (c)に入る接続詞としてふさわしいものを①～⑤から選び、記号で答えなさい。

C: (d)に入る接続詞としてふさわしいものを①～⑤から選び、記号で答えなさい。

- ①しかし ②さもないと ③そして ④したがって ⑤なぜなら

(3)以下の項目から、

A:「結束型ソーシャル・キャピタル」に該当する項目の個数を①～⑨から選び、記号で答えなさい。

B:「橋渡し型ソーシャル・キャピタル」に該当する個数を①～⑨から選び、記号で答えなさい。

- ・地元の方が近くでつながっていて、すごく仲がいい
- ・外国人アーティストや移住者をあたたかく迎える
- ・次々に新しい試みを打ち出し、それを成功させることができている
- ・外部の人々を神山のファンにしてしまう
- ・住民間で信頼感があり、自発的におしめない協力を提供する
- ・異質な人々を受け入れながら自分たちも変わっていかうとする
- ・社会における様々な変化に対応できずに魅力を喪失している
- ・「自分たちの将来は、自分たちで決め、実行する」という強い意志と行動力がある
- ・優れた技術やスキルをもつ、大都市の企業や人材とのネットワークも積極的に構築する
- ・多様な人々との交流を通じて新しいつながりを作っていくことを楽しいと感じる

- ①1つ ②2つ ③3つ ④4つ ⑤5つ ⑥6つ ⑦7つ ⑧8つ ⑨9つ

(4)傍線部(e)「結束型」ソーシャル・キャピタルが「橋渡し型」ソーシャル・キャピタルの形成を阻む」とありますが、なぜそのようなことが起こる可能性があると考えられますか。その理由として最もふさわしいものを①～④から選び、記号で答えなさい。

- ①「結束型」ソーシャル・キャピタルは、内向きの力が強く、排他的になってしまうこともあり得るから。
- ②「結束型」ソーシャル・キャピタルは、外部の人間とも共感し、共同体の中に取り込んでしまうから。
- ③「結束型」ソーシャル・キャピタルは、海外渡航経験がある者たちで形成され、保守派を攻撃するから。
- ④「結束型」ソーシャル・キャピタルは、契約によって成立し、短期的に訪れる人とは相応の契約しか結べないから。

(5)本文の内容としてふさわしくないものを①～④から選び、記号で答えなさい。

①地元の人たちと移住してきた人たちの間に互いに一致する感性があれば、移住者は地元のコミュニティに円滑に参加することができる。

②社会における様々な変化に対応できずに魅力を喪失している地域においては、「橋渡し型」のネットワークが重要であり、そのためにも契約に基づく関係性を強固にし、住民間の結束を高めることが優先される。

③神山では「共感中心」の参加を重視していることが、コミュニティ・キャピタルの蓄積を生み出し、集団的パフォーマンスの成功につながっている。

④神山以外の外の世界を見ている人が多いことが、変化に対して柔軟なまちの風土を生み出し、さらに国際交流活動の推進が、異質な人々を受け入れながら自分たちも変わっていかうという意識の醸成につながった。

(6) 神山町におけるソーシャル・イノベーションの特徴を捉えた上で、それによって生まれたと言えないものを①～⑤から選び、記号で答えなさい。

① 地域に伝わる野菜を育てる地元農家のグループと提携して仕入れた食材を、海外のシェフが監修したメニューに調理して提供しているかまや食堂

② 全国から若者が集い、地元住民グループからの食事や住居の応援を受けつつ、自分の生き方・暮らし方・働き方を考え、対話し、活動する神山塾

③ 住民主導の支援によりアトリエのための古民家を改修し、町全体で海外から招いたアーティストの創作活動を支えるアーティスト・イン・レジデンス

④ 地元農家で70年間受け継がれてきた在来種の小麦を保存するために、地域の高校生が耕作放棄された畑を引き継いで栽培に挑戦する食育の授業

⑤ イタリア人審査員を招き、地元の石積み保存会の応援のもと、古くから伝わる石積みの技術と伝統を広く伝え残すために開催される石積み甲子園